

新型コロナウイルス感染症の 県内発生について

その16の追加

～第六波の状況～

和歌山県福祉保健部技監 野尻 孝子

2022年4月6日

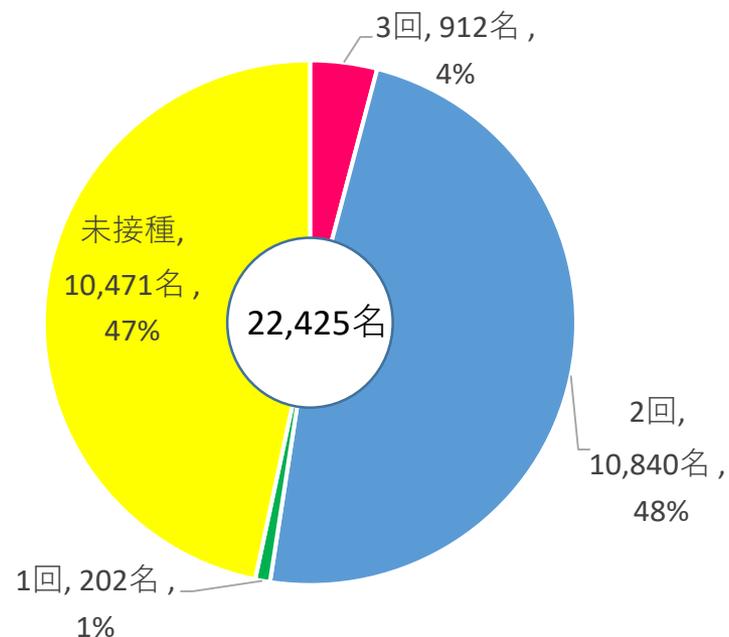


第六波のワクチン接種回数別感染者の状況

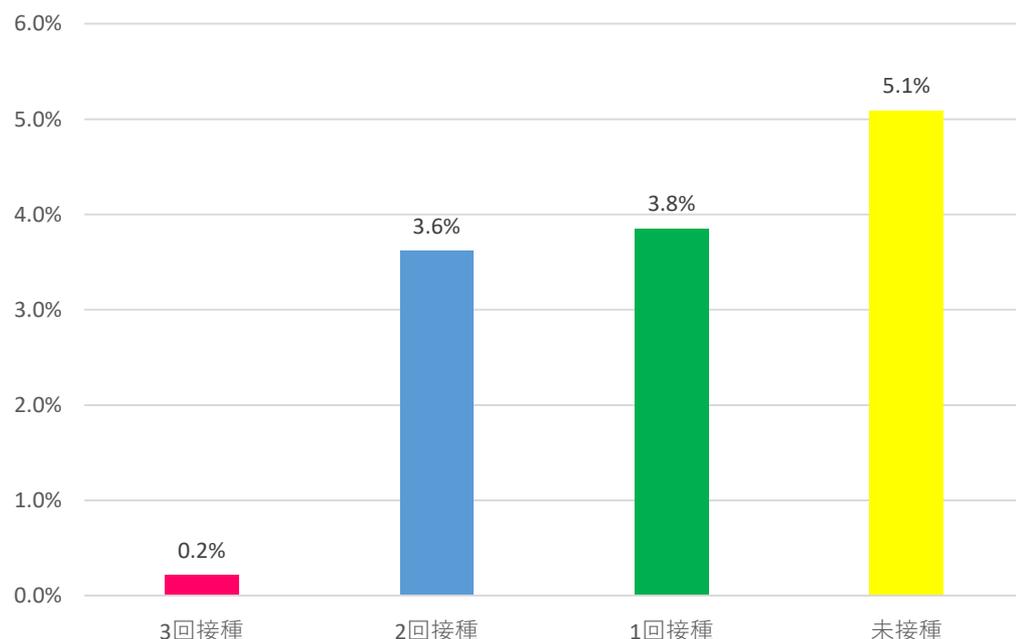
令和4年3月28日現在

- 第六波の感染者22,425名のうちワクチン3回接種済者は912名で全体の4%であった。また、2回接種済者は10,840名（48%）で未接種者※10,471名（47%）とほぼ同じであった。
- ワクチン接種回数別の罹患率では、3回接種済者は0.2%と極めて低かった。2回接種者と1回接種者はほぼ同率であった。2回接種済者は未接種者※の罹患率の約7割になっており、ワクチン効果が減弱していることがわかる。
- 従って、これまでの分析結果も含め、感染者数を減少させ、重症化を防止するためにも、ワクチン3回接種が推奨される。

1. 感染者のワクチン接種回数



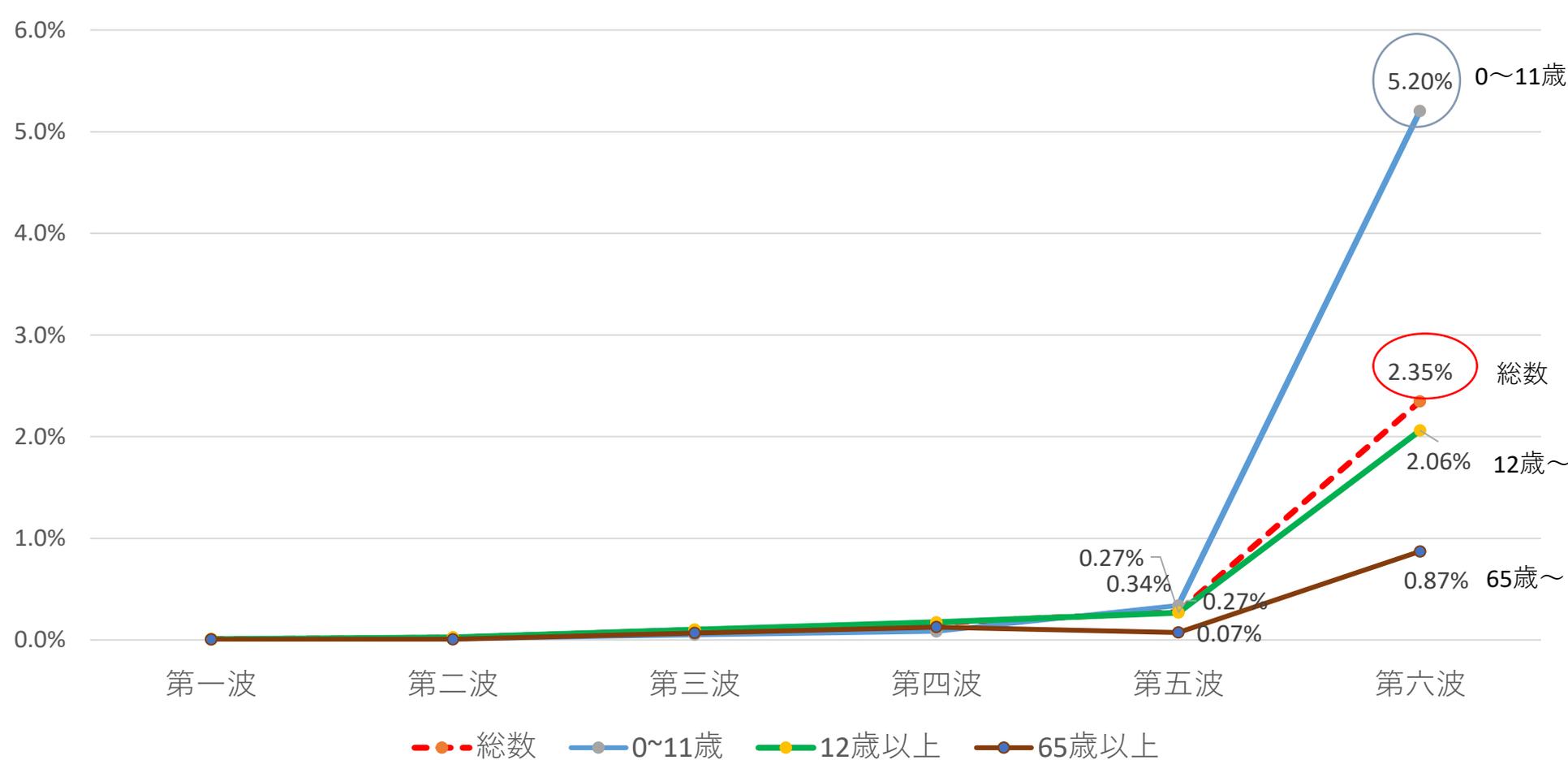
2. ワクチン接種回数別罹患率



※未接種者には一部不明を含む

和歌山県の推定罹患率の推移

R4年3月26日現在



陽性者数 (罹患率)	人口(R3.1)	第一波		第二波		第三波		第四波		第五波		第六波		合計
		R2.2.13~6.22		6.23~10.31		11.1~R3.3.13		3.14~7.10		7.11~R4.1.3		R4.1.4~		
総数	944,432	64	0.007%	214	0.023%	912	0.097%	1,565	0.166%	2,593	0.275%	22,162	2.347%	27,510
0~11歳	82,754	1	0.001%	9	0.011%	41	0.050%	70	0.085%	280	0.338%	4,306	5.203%	4,707
12歳以上	861,678	63	0.007%	205	0.024%	871	0.101%	1,495	0.173%	2,313	0.268%	17,752	2.060%	22,699
うち65歳以上	309,961	12	0.004%	19	0.006%	208	0.067%	389	0.125%	226	0.073%	2,697	0.870%	3,551

※県外計上を含む

県内医療機関における新型コロナウイルスに対する抗体保有調査結果・その4

○概要

- 令和3年12月1日～令和4年1月30日にかけて、紀北、紀中、紀南の計5病院にて採血を行った方で、本調査への参加に同意をいただいた方の中から、性・年齢別に無作為に抽出した2,541名（各病院500名程度）を対象に抗体検査（N抗体、S抗体）を実施。

○結果

1) N抗体：電気化学発光免疫測定法（Roche社） 2) S抗体：電気化学発光免疫測定法（Roche社）

地域	医療機関	陽性（陽性率）	陰性	計
紀北	A	7 (1.40%)	493	500
	B	3 (0.60%)	497	500
	C	3 (0.56%)	534	537
紀中	D	1 (0.20%)	499	500
紀南	E	5 (0.99%)	499	504
合計	5機関	19 (0.75%)	2,522	2,541

地域	医療機関	陽性（陽性率）	陰性	計
紀北	A	365 (73.00%)	135	500
	B	427 (85.40%)	73	500
	C	323 (60.15%)	214	537
紀中	D	450 (90.00%)	50	500
紀南	E	397 (78.77%)	107	504
合計	5機関	1,962 (77.21%)	579	2,541

陽性：19名（0.75%）

参考：PCR陽性者総数
（令和4年1月30日時点）

10,744名：1.14%
（県人口に対する割合）

自然感染した者が徐々に増加している。
また、ワクチンによるS抗体陽性者が増加している。

参考：N抗体陽性者は、令和3年12月実施で14名（0.56%）、令和3年7月実施で2名（0.41%）、令和2年6月実施0名。
S抗体陽性者は、令和3年12月実施で1,416名（56.1%）。 3

県内医療機関における新型コロナウイルスに対する抗体保有調査結果・その4

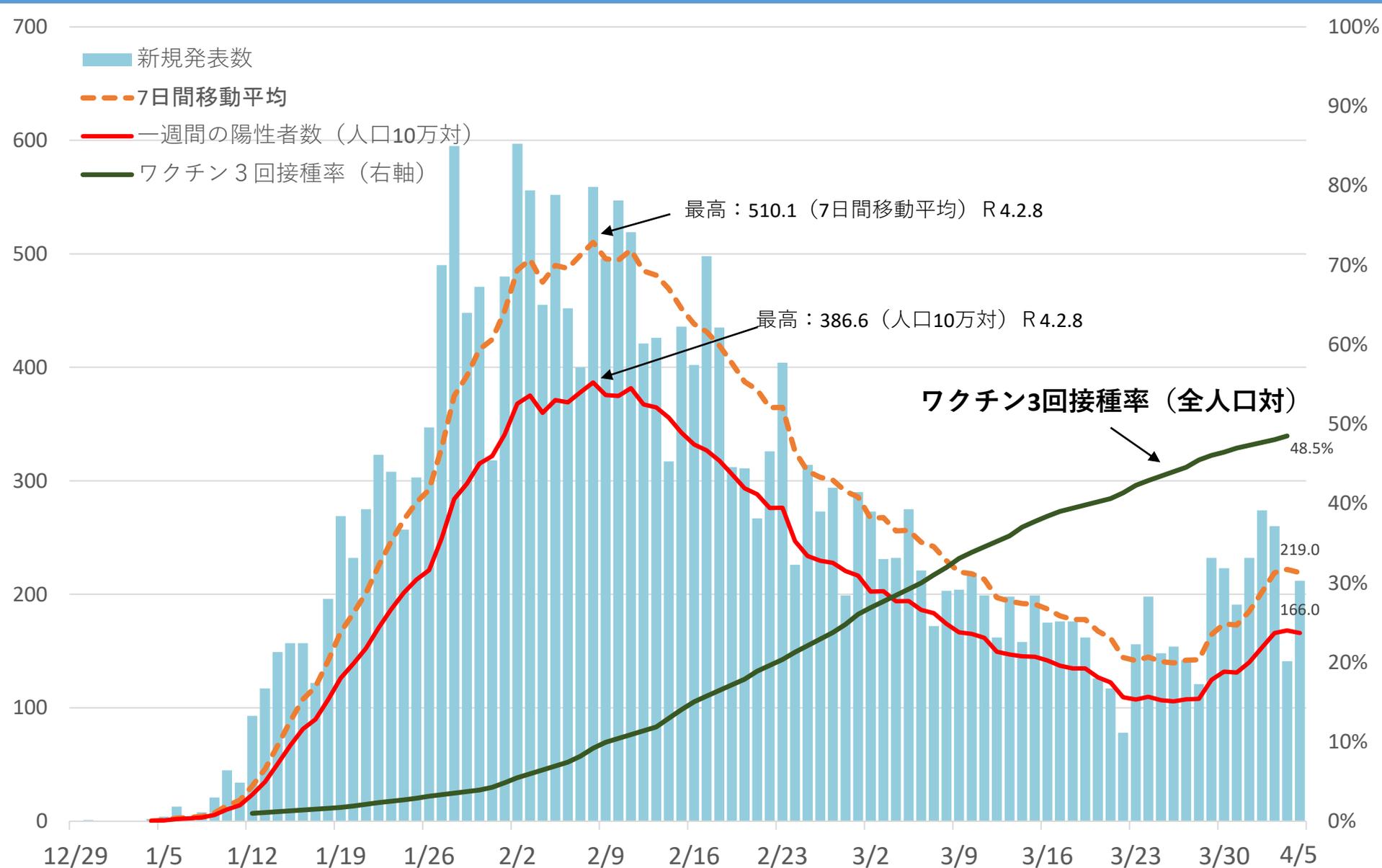
- 令和3年12月1日～令和4年1月30日にかけて、紀北、紀中、紀南の計5病院にて採血を行った方で、本調査への参加に同意をいただいた方の中から、性・年齢別に無作為に抽出した2,541名（各病院500名程度）を対象に抗体検査（N抗体、S抗体）を実施した。
- 感染で陽性となるN抗体陽性者は、各病院で見られた。県全体で10代～90代の19名であった。20代が最も高い保有率であった。

抗体保有調査（医療機関）

N抗体陽性者

年代	紀北			紀中	紀南	各年代別検査数	
	A	B	C	D	E	合計 (各年代別の陽性率)	
0～						0 / 50	0 %
10～	1					1 / 102	0.98 %
20～	2	1			1	4 / 192	2.08 %
30～			1	1	2	4 / 214	1.87 %
40～	1				2	3 / 235	1.28 %
50～	1	1				2 / 302	0.66 %
60～		1	1			2 / 363	0.55 %
70～	1		1			2 / 480	0.53 %
80～						0 / 417	0 %
90～	1					1 / 186	0.54 %
計（医療機関別陽性率）	7	3	3	1	5	19 / 2541	0.75 %
医療機関別検査数	500	500	537	500	504		

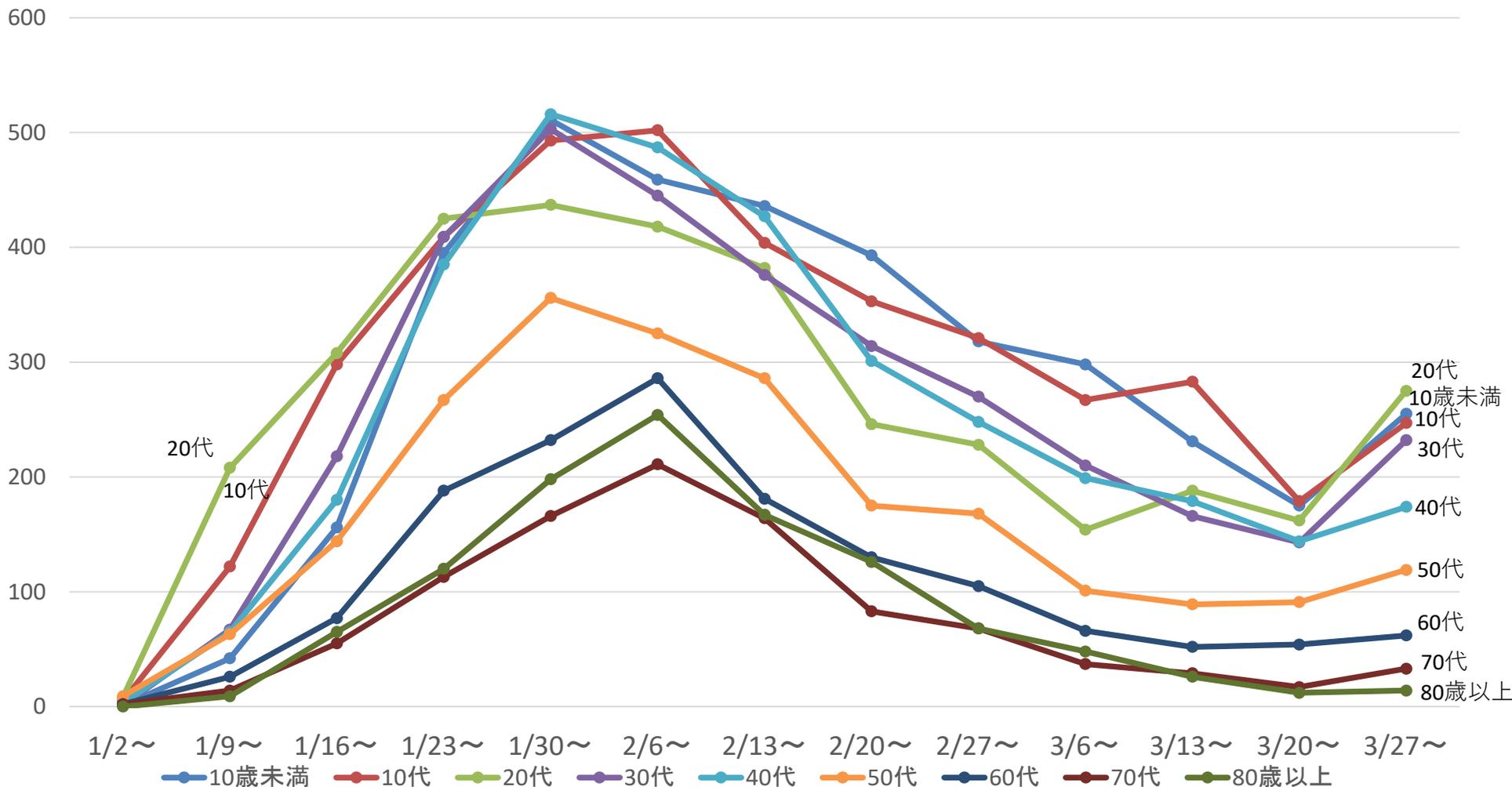
第六波の新規感染者数の推移とワクチン3回接種率



県内の第六波の週別年齢別感染者数

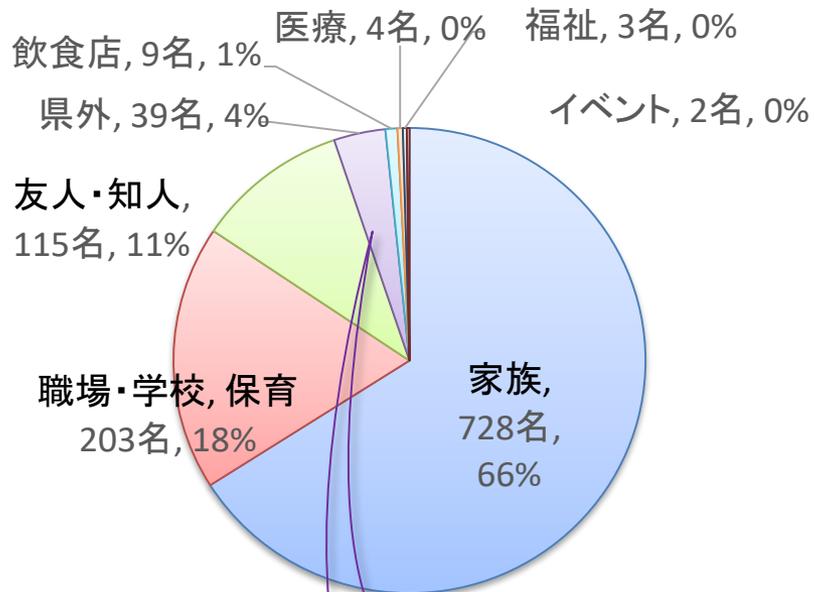
(4月2日発表分まで)
第六波～ 23,549名

- 第六波の感染の拡大は、20代、10代から始まり、30代、40代の働き盛りの年代、その家族の子供に、そして高齢者に感染が拡大していった。
- どの年代も2月中旬から3月初旬には減少していったが、3月下旬から再び、10代、20代、30代の行動が活発な年代の感染者が増加したことから、再度感染拡大傾向にある。10歳未満の小児も保育園や家族内感染等により増加している。

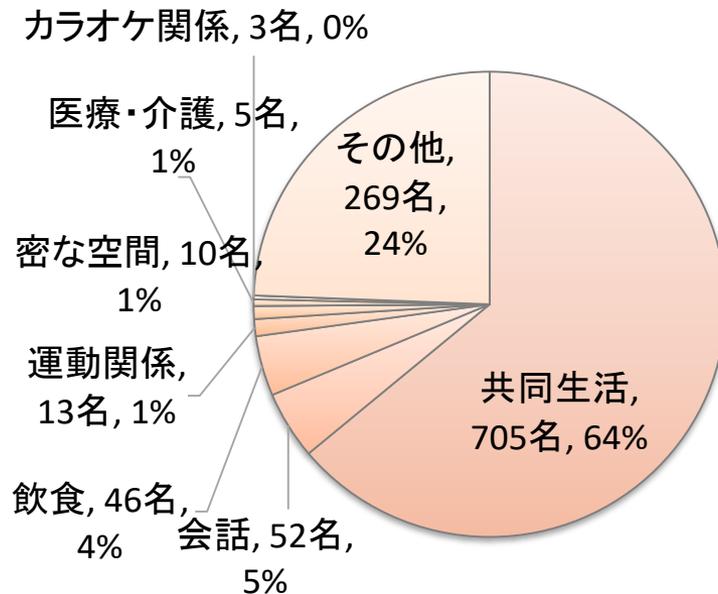


令和3年3月24日~4月4日発表分 2316件中、感染経路不明1213件を除く1103件:約48% (県外計上者を除く。)

推定感染経路



推定感染機会



県外

